

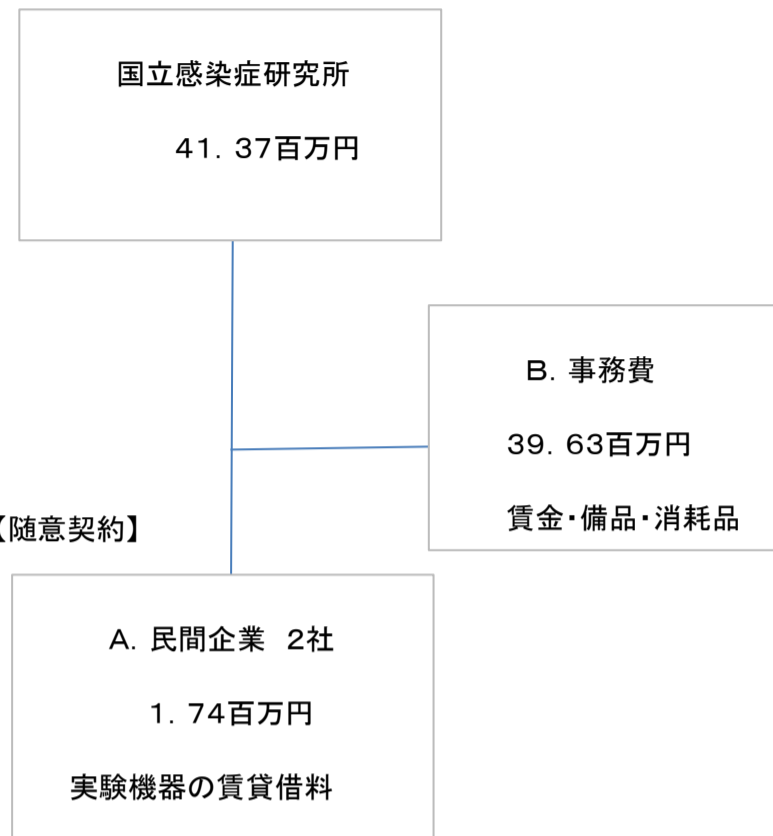
平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	エイズ研究センター経費	担当部局庁	国立感染症研究所	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和57年度	担当課室	総務部会計課	課長 星野 真			
会計区分	一般会計	施策名	IV 3 4				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	HIV感染症克服に向けての基礎応用研究として、HIV感染拡大状況・病態の把握、HIV感染・発症機序の解明に基づく予防・治療法の開発・改善、国際交流・貢献を目的とし、特に、感染診断基盤システムの整備、エイズワクチン開発、国内薬剤耐性ウイルスの発生動向把握、途上国への診断検査技術の普及等を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	HIV感染診断基盤システムの整備・確立(診断困難例の精査試験、標準ウイルス株整備による診断精度の高度化および検査技術の普及・向上・精度管理)、生検・剖検例の病理検査(診断困難症例に対し病理学的見地からの診断・予防・治療の支援)、HIV感染の分子遺伝子学的研究(HIV感染・発症機序の解明に基づく新規のワクチン・治療技術の開発)、エイズのウイルス感染診断検査技術講習(10-12カ国を対象とするHIV感染診断技術および疫学手法に関する講習)等を行っている。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	73	58	41	41	34
		補正予算					
		繰越し等					
		計	73	58	41	41	34
		執行額	72	58	41		
	執行率(%)	98.6%	100.0%	100.0%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(24年度)
	HIV感染症の克服に向けての総合的・長期的な視点に基づく基礎・応用研究であり、定量的指標の設定は困難である。	成果実績		-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	総合的・長期的な視点に基づく基礎・応用研究であり、活動内容の全てを定量化することはできないが、活動内容の一部の指標として、技術講習(国際研修)がある。	活動実績(当初見込み)	回	1	1	1	-
				(1)	(1)	(1)	(1)
単位当たりコスト	10,000,000(円/1技術講習)	算出根拠	エイズのウイルス感染診断検査技術講習を毎年1回開催。その経費は約10,000,000円				
平成23・24年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	備品費	8	8				
	消耗品費	28	21				
	印刷製本費	1	1				
	賃金	4	4				
	計	41	34				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	保健医療の向上や感染症に関する研究を行うことが国立感染症研究所の責務であり、国の感染症対策に寄与する事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	感染症法に基づく国の責務を踏まえ実施している事業である。
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	－
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	会計法に基づき適切に契約を行い、競争性を確保している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	少額の契約であっても複数社から見積を徴収し、最低価格で購入するなど、コスト削減に努めている。
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	－
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	－
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	事業の適切な遂行について、必要な経費に限定されている。
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	－
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	－
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	－
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	－
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	感染症に関する研修を行い、途上国への診断技術の普及を行っている。
点検結果	試験検体・標準パネル等の管理システムや国際研修の配布テキスト等にかかる経費の節約等も進め、最適の対応を行っている。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	本事業は、感染症対策の試験研究の遂行に必要な経費であり、執行状況及び事業計画等見直しの上、必要な予算計上とすること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	消耗品について、経費削減を行い、要求額について一部改善を行った。		
補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	624	平成23年行政事業レビュー	565

※平成23年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.(株)和科盛商会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
借料	DNAシーケンサー賃貸借	1			
計		1	計		0
B.非常勤職員A			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
賃金	非常勤職員の賃金	4			
計		4	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)和科盛商会	DNAシーケンサー賃貸借	0.95	随意契約	
2	(株)日立キャピタル	超低温フリーザー賃貸借	0.79	随意契約	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

支出先上位10者リスト

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	非常勤職員A	賃金	3.58		
2	(株)池田理化	超低温フリーザー	3.58	2	99.71
3	非常勤職員B	賃金	3.56		
4	非常勤職員C	賃金	2.26		
5	非常勤職員D	賃金	1.32		
6	非常勤職員E	賃金	0.95		
7	非常勤職員F	賃金	0.91		
8	非常勤職員G	賃金	0.74		
9	非常勤職員H	賃金	0.73		
10	(株)チヨダサイエンス	CO2インキュベーター	0.16	随意契約	